

平成28年度 熊本県教育委員会指定

熊本県「生きる力」を育む研究指定校 学力充実研究推進校

## 錦町立錦中学校 研究発表会

### 研究主題

「生徒の学習意欲を引き出す、分かりやすい授業づくり」  
～基礎・基本の確実な定着と、主体的・協働的な学びを通して～



期 日：平成28年10月21日（金）

会 場：錦町立錦中学校

錦中学校が考える「教える」とは・・・

むずかしいことを やさしく

やさしいことを ふかく

ふかいことを ゆかに

ゆかいなことを まじめに

〈井上ひさし氏（作家）「座右の銘」より〉



剣豪とフルーツの里  
錦町マスコットキャラクター  
「錦太郎（きんたろう）」

# 研究主題について (主体的・協働的な学びの実現へ向けて)

## 研究の仮説

自ら課題を見つけ、それをよりよく解決していく**主体的・協働的な学習**を展開すれば、生徒は**深く学び合い**、**表現力**や**創造力**の育成につながるであろう。

## めざす生徒の「主体的」な姿

- ◎めあてや課題に対して自分でしっかり考え、解決しようとしている姿
- ◎自分の力で調べ、答えを導き出そうとしている姿
- ◎進んで他者との対話に参加し、意見の相違に気付き、練り上げようとしている姿

## めざす生徒の「協働的に学び合う」姿

- ◎ペアやグループでの学習を中心に、自分の意見を持ち、他者と対話しながら学ぶ姿
- ◎意見交換する過程で、新たな発見や驚きを体験し、創造しようとする姿
- ◎発表したりまとめたりしたことから、さらに課題を見つけ、生徒自らが探究する姿

## 主体的・協働的に学び、表現力・創造力を育成するポイント

### <導入場面>

- めあてや課題を把握
- 学習過程の見通し
- ICTを効果的に活用し、意欲の喚起
- 基礎・基本の徹底指導

### <協働場面>

- 自分でしっかり考察
- グループ活動を中心とした対話的な学び
- 友だちとの相違点に着目した学び合い

### <終末場面>

- 自分の考えをもとにした、表現活動や創造活動
- 生徒のこぼれによるまとめ
- 学習の定着を評価

### より深い学びへ

《 ①主体的に考え、②相互で対話し、③**表現力・創造力の育成** 》

①



タブレットPCで課題の確認(技術)

②



グループ学習による課題解決(社会)

③



全体で共有し、表現・創造(家庭)

- ① 本時のめあて(課題)に向けて主体的に考えることができるよう、全体で確認する。
- ② ペアやグループで他者と対話しながら学習し、他者との相違点をもとに自分の考えを深める。
- ③ 学び合ったことをイメージ化・可視化することで共有し、表現力・創造力を育成する。

# 授業研究部会

(各教科ごとの主体的・協動的な学びについて)

各教科における①主体的に考え、②相互で対話し、③表現力・創造力の育成

《国語科》研究テーマ：協動的な学びを通じた思考力・表現力の育成



本時の言語材料を、全体で確認



付箋を用いて生徒同士の考えを共有



ホワイトボードを活用したまとめ

取組例

- ① 本時で扱う言葉について、一つ一つ意味までしっかり押さえ、主体的な思考を促す。
- ② 自分の考えを付箋に記入させ、テーマごとにグループでしっかり話し合う。
- ③ ホワイトボードで意見交換したり、発表したりして考えを共有し、自分の表現(作文等)に生かす。

《数学科》研究テーマ：数学的活動を通して、学ぶ喜びを育む指導の工夫



課題解決を促す操作活動



グループで意見交換・教え合う



電子黒板と黒板で生徒の考えを共有

取組例

- ① 思考ツールとしてタブレットPCを活用し、主体的に課題を捉える。
- ② 早くできた生徒が教えたり、他のやり方がないか話し合ったりして、相互に学び合う。
- ③ 一番よい方法を生徒の考えをもとにまとめ、適用問題に取り組み、学びを確かなものにする。

《英語科》研究テーマ：コミュニケーション能力の育成



ペアで楽しく、2分間英会話



自分の考えをもとに、練り上げる



オリジナルの劇で発表

取組例

- ① 授業開始後2分間、ペアで既習事項を用いた英会話を行い、コミュニケーションへの意欲を高める。
- ② 英文を用いて会話したり、意見を交流したりして学び合い、グループでのまとめをする。
- ③ オリジナルストーリーを作ったり、自分自身のことを英語で書いたりして発表する。

《美術科》研究テーマ：表現する喜びと鑑賞する楽しみを通じた、美術を愛好する生徒の育成



本物の作品との出会いから気づき



タブレットPCを介して話し合う



自分の作品づくりへ生かす

取組例

- ① 作品から気づきを自由に出し合い、自分の作品作りへの関心を高める。
- ② 作品に対する気づきの相違点を話し合うことで、作品作りに対する考えを深める。
- ③ 練り上げたことをもとに、自分の作品を創り上げる。

# 授業研究部会 (基礎・基本の定着と指導形態や方法の工夫)

## 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための実践

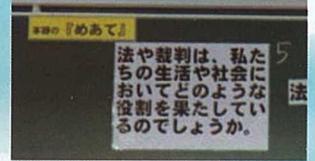
- ① 「単元の学習の流れ」、「本時の授業の流れ」の明示
- ② 導入時や協働的な学習時等における言語活動の充実
- ③ 系統性をもたせた反復練習と徹底指導
- ④ ドリル学習や、校務支援ソフトの活用

### <成果>

- ◎目標に沿った興味・関心を高める「めあて・課題」と整合性のある「まとめ」を意識するようになった。
- ◎生徒がスムーズな授業参加ができるように、単元を通しての学習内容や授業の流れを押さえるようになった。
- ◎実物投影機や校務支援ソフトを活用したことで、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることができた。

めあてを捉えやすくするため、課題や問題形式にして提示(社会)

クラスルームイングリッシュを階段や黒板に提示(英語)



授業支援ソフトの活用(5教科)

## 少人数・TT指導による個別指導の充実

- ① 生徒の発達段階を考慮したグループ編成
- ② 教師の役割を明確にし、生徒一人一人の学習状況を把握しながら指導
- ③ 学力検査等の結果をもとに、課題の分析と、苦手分野の克服のため、きめ細かい個別指導を実施

### <成果>

- ◎話し合いを中心としたグループ活動では、対話しやすい雰囲気の中、生徒同士が学び合うことができた。
- ◎T1・T2での役割を明確にし、導入や展開の工夫をしたことで、生徒にとって分かりやすい授業となった。
- ◎学力検査からわかる生徒の課題に基づき、生徒の理解度に合わせた課題克服プリントを作成し、取り組ませた結果、基礎・基本の問題の定着率が向上した。

課題に合わせた、個別指導を実施(少人数指導・理科)



役割を明確にしたティームティーチングの取組(英語)



「なぜかな?」という主体的な学びに導くため、生徒の思考ツールとして活用(音楽)

## ICT機器の効果的な活用方法・活用場面の研究

- ① めあてや課題を明確に提示
- ② 基礎・基本の定着を図るためのICT活用
- ③ 協働的な学び合いでのICT活用

### <成果>

- ◎めあて・課題の明示や実物投影機での実演など、学習課題に即して分かりやすく提示したことで、生徒の主体的な学習の一助となった。
- ◎課題発見、情報収集、課題追究、表現活動、意見や考えを共有する場面でICT機器を効果的に活用したことで、同じところや違いに気付き、学びが深くなった。

実際の活動を撮影して話し合い、技術の向上や試合に生かす(体育)



# 日常活動部会

(学力充実に向けた日常活動に関する研究)

## 学習規律(学習訓練)の徹底と学習意欲の向上

- ① 2分前着席、2分前黙想など自発的授業準備や学習規律の徹底へ向けての共通実践
  - ② 生徒会、専門委員会と連携した学習意欲向上への取組
- <成果>
- ◎生徒や職員の活動意欲が高まり、1時間の取組の徹底につながる。主体的な学習態度が見られるようになり、家庭学習の質の改善もみられるようになった。



代議員による授業2分前黙想の確認

## 「学びてノート」の質の向上

- ① 授業と家庭学習を結び付ける帰りの会での呼びかけ
  - ② 家庭と連携した毎月の自己評価表の記入
- <成果>
- ◎取組に関する掲示物の作成・配付を行うことで、生徒や保護者の意識が高まり、徹底につながっている。
  - ◎専門委員会と連携した取組により、生徒会活動の充実や活性化につながっている。

6月の学びてノート自己評価表

2年 組 号 氏名

内容	評価項目
基本的な授業	① 2分前「日付・めあて・取組時間」を毎日(帰りの会)で記入すること
アドバイス	② 教シールを貼られたり、使い方を注意されたりする日はなるべくいかに、問題を解いたら、必ず〇つけたり★しつけたりを2分前までに自分の課題を改善したか
	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

学びてノート

家庭学習力アップのために  
先生方からのメッセージ集

先生からのアドバイス集

## 生徒の習熟度に応じた課題設定の工夫

- ① 学びてノートや家庭学習の目標設定
  - ② 習熟度に応じた課題の与え方の工夫
- <成果>
- ◎生徒の習熟度に合わせて、家庭学習を過重負担のないよう与えた。また、学年職員を中心に、個別に指導を重ねることで、学習習慣の形成にもつながり、基礎・基本の定着を図ることができている。

学びて初心者にもどってませんか? 2年生は3~4分割が普通です。

1日4問か8問か?  
連立方程式が早く定着するのは8問の左です。

ただし、左の人もやり直して正確になるまで取り組んでないのが残念。

今日習ったことを1ページで終わらせずに身につくまで、時間がくるまで取り組めるようにしましょう。

ノートの使い方について掲示指導

## 「錦トレタイム」(朝学習)の充実と取組の徹底

- ① 生徒の主体性を重視した錦トレの時間や帰りの会での教科連絡掲示、早朝の事前準備、プリント配付、指示
  - ② 15分間を有効に使った課題設定や生徒の実態に応じた課題設定と活用方法
- <成果>

- ◎数学・英語・国語の3教科に絞り、各学年の担当を指導者として配置することで細かなところまで徹底できる。
- ◎国語・英語は「リスニング」を中心にを行い、朝から落ち着いた雰囲気の中で、集中して課題に取り組むことができている。



学習係の指示で、錦トレを実施

# 家庭・地域連携部会 (地域とともにある学校づくりに関する研究)

## 基礎・基本の定着、生徒の実態把握に向けた ICT 機器の活用

① タブレットPC、学習支援ソフトの活用による、学習内容の基礎・基本の定着

② 生徒の実態把握に向けた取組 (持ち帰り学習)

<成果>

◎タブレットPC、学習支援ソフトの学習に積極的に取り組んでいる生徒の様子から、学習意欲の高まりが伺えた。

◎学習支援ソフトでは、教科(単元)別、クラス別、個人別の結果がそれぞれ提示されるので、クラスの実態や生徒個人のつまずきを把握しやすく、その後の教科指導や個別指導の充実が図れた。

教科別、クラス別表示

個人別表示

## 家庭や地域との連携「家庭学習充実週間」の設定

① 錦町教育委員会「家庭学習の習慣化をめざして」をもとに、家庭学習充実週間を設定

② 各学年の実態に応じて学習時間をはじめ、スマートフォンなどの情報端末の使用時間やテレビの視聴時間等について細かく設定し、保護者と共通理解を図りながらの取組

<成果>

◎各学年の目標を明示し、保護者の意見欄を設けたことで、生徒の望ましい学習習慣の形成の一助となった。

◎保護者の意見に「スマートフォンなどの情報端末やゲーム・テレビの視聴についても、各家庭で見直すよいきっかけとなった。」とあった。今後も各学期に1度設定し、継続的な取組にしたい。

家庭学習の習慣化をめざして 保護者の皆様へ

低学年 基本的な学習習慣を身に付ける  
 中学校 自主的な学習習慣を身に付ける

学校と家庭との協力  
 子どもたちが学ぶことの興味や楽しさに気づき、主体的に学ぶ意欲をもち続けられることは、学校に帰る意欲の源です。そのためには、学校における授業の充実が大切ですが、家庭学習の習慣化を図る必要があります。そこで、次のことを家庭でお勧めします。

学力と学習習慣・生活習慣との関係

家庭学習充実チェックカード  
 錦中学校 1年 組 番 名前

※ 学習目標が達成できたら、○をかきます。できなかったら、×をかきます。

学習目標	日付	30日(月)	31日(火)	5/1日(水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)
1 家で学びてを行った。	時間	分	分	分	分	分	分	分
2 家庭学習(予習・復習)を1時間以上行った。 ※ 家庭は入札なし。								
3 テレビの視聴・ゲーム・スマホ・タブレット等の情報端末による学習の制限は、 月～金曜日は 60分以内 土、日曜日は 90分以内とした。	時間	分	分	分	分	分	分	分
1週間 取り組んで、思ったことや感じたこと(生徒が書きます。)								

保護者印

※ 6月6日(月)に、担任の先生に提出してください。  
 ※ 情報端末とは、スマートフォン、タブレット、インストールできるミュージックプレイヤーなど。  
 ※ You Tube等の動画の視聴、携帯ゲーム、LINEやFacebookなどの利用も含まれます。

## 学校運営協議会主催による学習支援教室の充実

● 「フレジョイ教室」(錦中学校運営協議会主催による算数・数学の学習支援教室)において、学習に困り感をもつ生徒への個別支援の充実

<成果>

◎学習支援員による、定期的な学習支援により、授業内容の定着率が向上した。また、学習状況に応じて入試問題の計算問題や、定期テストの振り返りを行ったり、個に応じてきめ細かい指導を行ったりした結果、基本的な学力の向上にもつながった。



フレジョイ教室にて個別指導